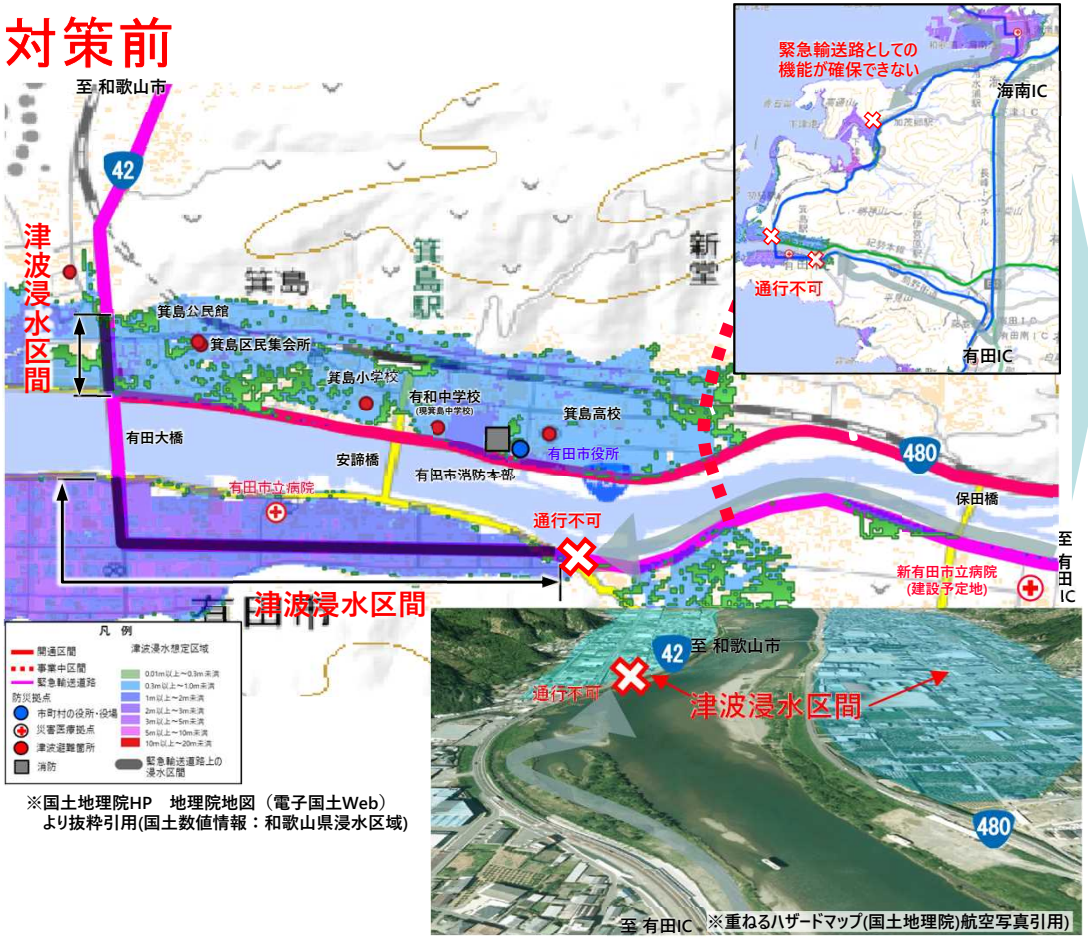
橋梁整備により緊急輸送道路ネットワークの強化

和歌山河川国道事務所

◆国道42号　有田海南道路（有田市野（ありだ）の～新堂（しんどう））

5か年加速化対策

対策前



※国土地理院HP　地理院地図（電子国土Web）
より抜粋引用(国土数値情報：和歌山県浸水区域)

※重ねるハザードマップ(国土地理院)航空写真引用)

対策後

※国土地理院HP　地理院地図（電子国土Web）
より抜粋引用(国土数値情報：和歌山県浸水区域)

※R4.2撮影

Before:

○ 有田川河口付近では、南海トラフ巨大地震発生時、津波による浸水が予測されており、国道42号の一部が浸水区間となり緊急輸送道路としての機能が確保できなかった。

After:

○ 有田サンブリッジが開通（R5.2.19）したことにより、浸水区間を避けた避難ルートの確保や、防災拠点とのアクセスが可能となり、緊急輸送路としての広域的なルート確保ができる。